

第4回糸魚川市駅北復興まちづくり市民会議次第

平成30年11月6日(火) 14:00～
糸魚川商工会議所 2階会議室

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議事
 - (1) 今までの検討状況と今後の進め方

 - (2) 各グループによる中間報告
4. 市長、会頭からの講評
5. その他
 - (1) 次回の会議について
 - ・ 第5回 12月18日(火) 13:30からを予定
 - 糸魚川商工会議所2階会議室
6. 閉会

※閉会后

次回検討に向けてグループで相談

駅北における目指す姿、ターゲット、具体的な姿

グループ名	暮らしのシェア	チーム駅KITA(北・来)	キッズドリーム
目指す姿	暮らしのシェア	「お金を稼げる」駅北	「子供連れでも楽しめる駅北」 ～キッズファースト～
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代 ・働いている世代 ・学生 ・IUターン移住者(就職・起業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の人、学生 	子ども
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事(なりわい)のシェア ・子育てのシェア ・空間(居住、お店・・・)のシェア ★シェアハウス <ul style="list-style-type: none"> ・異なる家族、人たちが子育てやノウハウ、悩みを共有 ・リビングで一緒にくつろぐ ・広いお風呂、シアタールーム(趣味) ・おばあちゃん、おじいちゃんの知恵袋 ★シェアショップ&レストラン <ul style="list-style-type: none"> ・商売を始めたい人たちがお試し起業できる場所 <p>※あったらいいなこんな機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の一部機能 ・商工会議所 ・子育て支援 ・企業支援 ・定住促進 <p>※ワンフロアで公共サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材のシェア 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が来る必然性(図書館等の市の出張機関) ・街中で人々の会話が增える ・御風さん、ヒスイ、ジオパーク、食、etcの糸魚川の魅力の集約発信基地 ・学生が集まって勉強したり話をしたり出来るスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ★子ども <ul style="list-style-type: none"> ・学校帰りのたまり場、体をつかって遊んでる ・食べ歩き、駄菓子屋 ・子どもと商店の店主とのふれあい ★家族 <ul style="list-style-type: none"> ・家族でお茶タイム(おやつ付) ・子供がワイワイできる喫茶店 ・おじいちゃん、おばあちゃんと孫と一緒に街を歩いている ・ママ友同士が子ども連れでいるカフェ
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・野村祐太 ・猪又直登 ・青木資甫子 ・竹田しをり ・松木美沙子 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坂功 ・小林大祐 ・室川亜紀 ・小出薫 ・土田満 	<ul style="list-style-type: none"> ・白沢賢二 ・齋藤伸一 ・斉藤里沙 ・丸山剛 ・木島嵩善 ・本間寛道 ・小竹貴志
アドバイザー	伊藤薫	江口知章	西村浩

糸魚川市駅北復興まちづくり市民会議（中間報告）

にぎわいのあるまちづくりを目指し、市民会議を設置しました。
若者や女性を中心に、委員17名とアドバイザー3名から構成されています。

○第1回（7月27日）

第1回目は、これまでの経過として、復興まちづくり計画における位置づけや今までの検討状況について説明。

その後、3名のアドバイザーから、事例等を織り交ぜていただきながら、新たなまちづくりについて、見識を深めた。



○第2回（8月31日）

第2回は、にぎわいのイメージの共有をはかるため、ワークショップ形式によるグループワークを行った。

その後、イメージをもとに、にぎわいの定義をまとめた。



<にぎわいの定義>

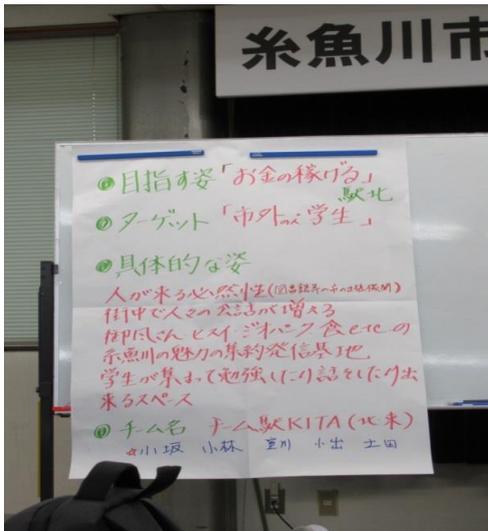
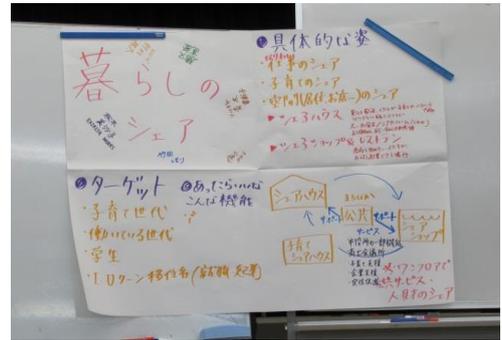
- ・市内から市外から、目的を持って街に人が集う
- ・糸魚川に魅力を感じた人たちが、たくさん訪れている
- ・駅に降り立った人たちが、街中を回遊している
- ・住民同士の結びつきが強く、たとえ一人でいても寂しくない
- ・街の環境整備が行われ、利用されている



○第3回(10月4日)

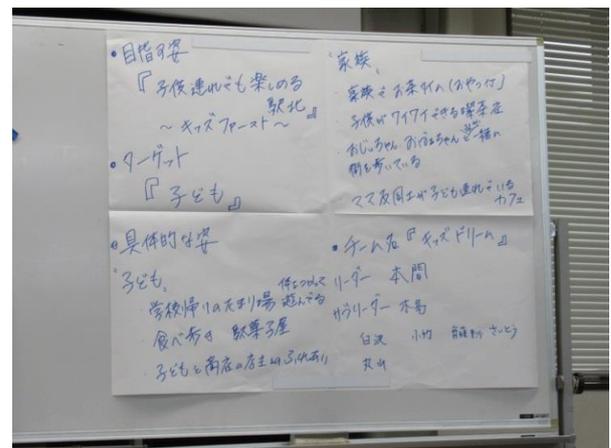
第3回は、にぎわいの変遷をたどりながら現状を把握し、にぎわいの定義を基に、この地域の目指す役割や具体的な取り組みのアイデアを出し、同様なテーマごとに3つのグループ分けをし検討した。

- グループ名、目指す姿
「暮らしのシェア」
- ターゲット
「子育て世代、働いている世代、学生、U・Iターン移住者」
- 具体的な姿
 - ・仕事のシェア
 - ・子育てのシェア
 - ・空間(居住、お店...)のシェア



- グループ名
「チーム駅KITA(北・来)」
- 目指す姿
「お金の稼げる」駅北
- ターゲット
「市外の人・学生」
- 具体的な姿
 - ・人が来る必然性(図書館等の市の出張機関)
 - ・街中で人々の会話が增多
 - ・御風さん、ヒスイ、ジオパーク、食etcの糸魚川の魅力の集約発信基地
 - ・学生が集まって勉強したり、話をしたり出来るスペース

- グループ名
「キッズドリーム」
- 目指す姿
「子供連れでも楽しめる駅北」
～キッズファースト～
- ターゲット
「子ども」
- 具体的な姿
 - ・“子ども”
学校帰りのたまり場、体をつかって遊んでいる
食べ歩き、駄菓子屋
子どもと商店の店主とのふれあい
 - ・“家族”
家族でお茶タイム(おやつ付)
子供がワイワイできる喫茶店
おじいちゃん、おばあちゃんと子どもと一緒に街を歩いている



○第4回(11月6日)

第4回は、この地域の目指す役割や具体的な取り組みについて、委員から中間報告を行い、その後、市長・会頭との意見懇談を行う。

○第5回(12月18日)

第5回は、にぎわいの拠点を考慮しながら、具体的な取り組みについて深掘りをし、提案書を作成する。

○第6回(1月中下旬予定)

第6回は、にぎわいの拠点を含め、具体的な取り組みの提案書を基に、どこでそれが行われるかを駅北マップに落とし込む。

○第7回(2月中旬予定)

第7回は、提案書とマップを基に、駅北で行われるにぎわいや果たす役割について、市長、会頭へプレゼンを行う。

にぎわいづくりの提案書

目指す姿				
ターゲット	具体的な姿	必要なもの・具体的内容	行われる場所	定義との関連
実施者	時期・時間等	期待される効果・ねらい	指標	

にぎわいづくりの提案書(記入例)

目指す姿	(例)糸魚川まちなか自由研究講座			
ターゲット	具体的な姿	必要なもの・具体的内容	行われる場所	定義との関連
(例) 子どもと商店街の方々、地域の人々	(例) ・商店街の店主やスタッフがアドバイザーとなり、その店に困んだ専門的な技術や知識を教え、子どもたちに自由研究の題材としてもらう。 ・子どもたちは興味ある題材(お店)選び、各店舗に直接行って学ぶ。	(例) お店の専門的な技術、知識話を聞いたりする場所	(例) 商店街、お店の中	(例) 住民同士の結びつきが強く一人でも寂しくない
実施者	時期・時間等	期待される効果・ねらい		指標
(例) EKIKITA WORKS	(例) 夏休み 13:00~17:00	(例) 子どもとお店の人との繋がりを築く お店の存在、特徴を知ってもらう 大人が働く姿を見て、仕事に対する魅力を感じてもらう		(例) 参加者の推移 参加者アンケート調査

まちの将来イメージ

